

園芸愛好家らの団体、陸前高田に

花の街復興 球根贈り応援

希望の花いわて3・11(吉川三枝子代表)は、復興への願いを込め沿岸の被災者に花の球根を送る活動を進めている。国道45号沿いのフラワールoad陸前高田(陸前高田市)が流失するなど甚大な被害を受けた各地の花壇を彩り、心を痛めた被災者を励ます。15日に盛岡市で復興支援交流会を開き、大きな支援を呼び掛ける。

希望の花いわて3・11は、被災地に花を届けることで人々に安らぎと元気を取り戻してもらおうと、県内のガーデニング愛好家や造園業者などで6月に結成。各地の避難所や仮設住宅、保育園、商店

15日、盛岡で交流会

広がり呼び掛け

街に花のプランターやハンギングバスケットなどを贈った。高田松原周辺にあるフラワールoad陸前高田は、同市の鈴木勝井さん(78)らが中心となって1994年に設立した植栽ボランティア団体が整備に取り組んできた。昨年は沿道約1キロにわたってサルビアやマリーゴールドなど約1万5千株を定植。東日本大震災が発生するまで地域を華やかに彩っていた。高田一中の仮設住宅を華やかに彩っている。高田一中の仮設住宅を華やかに彩っている。

た。

「球根の提供は大変ありがたい。かつての陸前高田を取り戻す一つのきっかけにしていきたい」と感謝する。

被災地へ花を届ける活動を展開する中で鈴木さんらの取り組みを知った吉川代表(滝沢村)は、フラワールoadの整備で地域に美しい景観をつくり、「花の文化」を育もうとし、2001年、滝沢村大釜字風林514の援するため、来春に咲く花の球根を贈ることにした。

15日は午後1時半から盛岡市中ノ橋通1丁目(090・6255)のプラザおでつて、花と緑の復興支援



チューリップやクロッカスの球根を手に被災地への支援を呼び掛ける吉川三枝子代表(滝沢村大釜の自宅)

届ける活動の輪

問い合わせは吉川さん(090・6255)へ。